



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

# すまい造りメール

第200号 2018年11月号

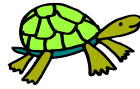
SINCE 2002.4.1.

発行日平成30年10月29日  
発行元有限会社佐野工務店  
〒237-0068  
横須賀市追浜本町1-25  
TEL 046(865)4010  
FAX 046(865)6139  
http://www.sano-k.net/  
info@sano-k.net

## 創刊200号

2002年4月に創刊させていただいた「すまい造りメール」が、今月号で第200号を迎えました。これも偏に皆様からのご支援やご協力、そしてご愛読いただいたお陰です。改めまして心より感謝申し上げます。

しかしながら、この第200号もあくまでも通過点と肝に銘じ、これからも住まいに関することは勿論ですが、身近な話題や地域情報などを提供させていただきながら、皆様の「快適な暮らし」に少しでもお役立ていただけるように、こつこつと号を重ねて参りたいと思います。



引き続きご愛読の程、よろしく願います。

SINCE 2002.4.1. **創刊200号**  
お陰さまで 皆様のご愛顧に感謝申し上げます

## もう懲りた？

宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の抜粋です。



雨にも負けず  
風にも負けず  
雪にも夏の暑さにも負けぬ  
丈夫なからだをもち  
慾はなく 決して怒らず  
いつも静かに笑っている

.... (略) ....  
あらゆることを自分を勘定に入れずによく見聞きし分り そして忘れず

.... (略) ....  
日照りの時は涙を流し  
寒さの夏はおろおろ歩き  
みんなにでくのぼーと呼ばれ  
褒められもせず 苦にもされず  
そういうものに  
わたしは  
なりたい



「忘己利他」まだまだ修行が足りません。だって、人間だもの。

## よこすか文学館

<35>

横須賀市にゆかりのある文学者や歴史上の人物にスポットをあてて、時代背景とエピソードを交えながら彼らの文芸を紹介いたします。

【海軍機関学校の教官】  
豊島与志雄  
(明治23年-昭和30年)

機関将校の育成を目的とした海軍機関学校は、明治26年から大正12年の関東大震災罹災まで横須賀にありました。その教官では、大正5~8年に在職した芥川龍之介(英語)が有名ですが、その芥川の推薦で教官(仏語)となったのが豊島与志雄です。東京帝国大学在学中の大正3年に芥川らとともに第3次『新思潮』同人となり本格的な創作活動を開始しました。機関学校勤務は7年から大震災まで続き、その後、法政大学、明治大学で教鞭を執りました。豊島は流行作家ではありませんが、その幻想的な小説は文壇では高く評価され、昭和24年芸術院会員となっています。また数多くの児童文学作品や『レ・ミゼラブル』等の翻訳でも知られています。



第二術科学校(田浦)

洗足学園中学高校教諭  
中島正二

創刊200号 創刊200号 創刊200号 創刊200号 創刊200号 創刊200号

日本列島を直撃した先日の台風24号で被害を受けた住まいをご紹介します。

最近の台風は予想の範囲を超え、強大さを増すばかりです。北からの強風とともに飛んできた樹木の枝か小石の直撃を受けたのか、外壁(モルタル)の一部が崩落してその破片で近隣の車にキズをつけてしまいました。

## 「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」



崩落した外壁



破片でキズがついた車

台風のような天災による災害は不可抗力ということで民法上、車の損害補償まで及ぶことは少ないようです。この場合、天災による災害は加害者も被害者もないという考え方ですが、日頃からのメンテナンスが不可欠なことは言うまでもありません。したがって、それぞれが契約している火災保険や車両保険で自分で自分の補償をするということになります。しかしながら、一番大切なことは、いわば「被害者」である近隣への配慮ということになります。

# 横須賀製鉄所物語（なぜ建設されたか）〈48〉

52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀製鉄所についてお話を伺いました。

なぜ、横須賀製鉄所は建設されたのでしょうか。それは、当時の日本を取り巻く世界情勢が製鉄所への道を切り拓いたものと思われます。

1853年（嘉永6年）ペリー来航は、世情を震撼させました。徳川幕府は長崎を通して米国艦隊の来航については情報を入手していましたが、力により開港を求められ、江戸湾の中では今まで経験したことのない、大砲の力を思い知らされました。

幕府は先進諸国の海軍力に目を見張り、我が国の海防について改めて考える必要に迫られ、大型船建造禁止令を解除するとともに幕府自らも大型船の建造に着手することにしました。

しかし、幕府内部には近代的な海軍創設において軍艦を自ら建造するには500年を要するので、まず海軍軍人の育成からすべきとするいわゆる買船派と、国を守るための艦船は自らの手で建造すべきとする造船派に意見が分かれていました。

一方、各藩においては大型船建造禁止令の解除により、2015年（平成27年）9月、世界遺産に登録された萩・三重津にドックが建設され大型船の建造を計画し、オランダの造船書などを参考に組み組みましたが、実用化された例は見当たりません。各藩ともに大変な苦勞の連続でしたが報いられることがありませんでした。なかでも鍋島藩は、機械類を購入したものの『横須賀造船史』元治元年紀によれば「11月是ヨリ先キ佐嘉藩主鍋島齋正ハ蒸気工作機械ヲ和蘭ヨリ購入シ將ニ工場ヲ封内ニ起サントス然ルニ經費巨萬ヲ要スルト主任其人ナキトノ故ヲ以テ竟ニ之ヲ幕府ニ獻ズ（略）」と記されています。その機械類は徳川幕府に寄付されました。後日幕府は横須賀製鉄所建設に当たり横浜に小型の造船所を建設し、その施設に寄付を受けた機械類を設置し、横須賀製鉄所建設の準備段階として人材育成の研修などに充てられました。



そして、また、萩・鹿児島・蕨山には反射炉が建設され、西洋式の近代的な大砲の製造や銑鉄製造を目指しましたが、何れの反射炉も実用化されないまま、遺産として残りました。

（元横須賀市助役 井上吉隆）

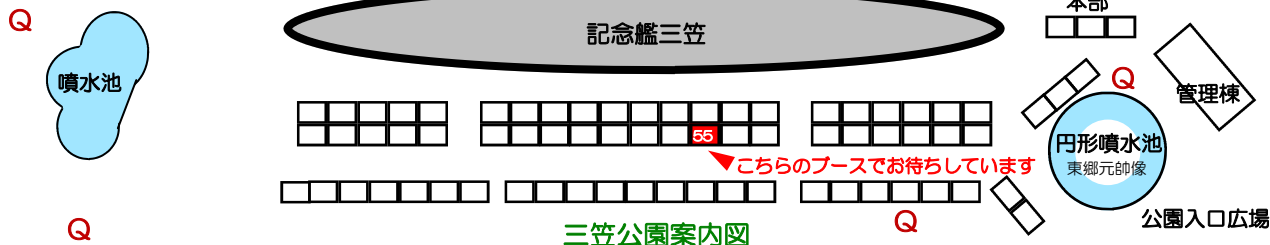


## 「横須賀製鉄所物語」（井上吉隆著）

「すまい造りメール」に連載しご好評をいただいた「横須賀製鉄所物語」（井上吉隆著）が冊子になりました。第137号「小栗上野介と勝海舟」から第159号「明治天皇行幸」までの全21話に、あとがきを追加して再編集しA4版全13ページにまとめました。

## みんなde街づくり

11月3日(土)・4日(日)に三笠公園で開催される「よこすか産業まつり」に出展します。10年連続10回目の参加となる2018年もパーククラフト教室「みんなde街づくり」を開催します。サイコロキャラメルの空き箱を使い、「SANTA'S HOUSE」と題して、少し早いですが、クリスマスに向けて、「お持ち帰り」ができるサンタさんの家を作成していただきます。お家に帰ったら、お部屋の中で一番目立つところに飾ってください。また、お時間があるようでしたら、三笠公園を隅から隅までぐるりとまわりながら、3枚のアクティビティカードで謎ときをする「公園の端までイッテQ!」を開催しますのでご参加ください。（地図中のQは謎ときのポイントとなる場所を表しています）



## お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2018」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店  
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索